

プラスチック製品製造業における高温・低温物との接触災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
5	14～15	成形現場で金型を成形機にのせようと右手で金型を押さえていた時、ノズルの先端に付いていた樹脂の塊が取れた為、ノズルの中に溜まっていた高温の樹脂が吹き出し、右手の中指・薬指・小指を火傷をした。	37	50～99
5	7～8	夜勤中、成形機のメンテナンス中のトラブルにより、熱風で顔面、左腕に火傷を負い救急搬送される。	42	10～29
6	13～14	型メンテ場で型サン作業中、気温・温度が高かったため気分が悪くなり、歩行不能となった。	41	50～99
7	16～17	工場内で業務用扇風機1台を設置し1名で自動車部品のバックボードを段ボール箱につめていた。急な気温上昇と暑さがキビシくなった事により作業中に熱中症になった。 ※当工場内、作業員全員には、特に作業場へ「水」等の持ち込みを指示し、体調の変化があれば「声出し」にて休憩を取ってもらっている。	66	30～49
7	8～9	機械の立ち上げ時に、前日に残った樹脂をたれ流して団子状になった物（樹脂温度約260℃）の処理中、右足に巻き付いて火傷した。	40	1～9
9	11～12	プラスチック加工場内の組み立て室において、熱転写作業をしている際に、プラスチックの成品を調整しようとし、左手人差し指を火傷した。	34	10～29
11	16～	押出器から出てくる樹脂の中の異物を取り除く金網の交換を行う作業の指導を受けていた。新しい金網を装着後、金網をセットしているプレートを油圧ポンプで下	27	50～

	17	げている時にプレート下部より気化した樹脂が噴き出し、その瞬間に樹脂に引火し、その火が顔面に当たり火傷を負った。		99
12	5~6	第4工場FS-9号機のプレコーターでシャットダウンのため、HRサービスタンクのフィルターを交換していたとき、隣に設置されたプライマーサービスタンク付近で音がしたため振り返ったところ、プライマーサービスタンク上部が発火しており、その火に触れて火傷を負った。	37	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html